

頭を打ったときの注意書

本日、診察させて頂きましたが、現時点では入院を必要とする異常はない判断いたしました。しかし、非常にまれに帰院後に病状が変化する場合がありますので御本人、御家族あるいは周囲の方は、この注意書を必ずお読みください。

出血は、頭を打ってすぐに起こることが多いのですが、稀に、数時間～数日経ってから起こることもあります。また、高齢者の方では、1～3ヶ月遅れて起こってくることもあります。頭蓋内の出血は、治療が遅れると命に関わる危険があり、出血の程度によっては緊急手術を含む適切な治療が必要です。初診時のCT検査やレントゲン検査で頭の中や骨に異常がなくても、後から出血が起こることがあるということです。帰院後も注意深く症状や状態を観察して下さい。頭蓋内出血や脳損傷には次のような症状がありますので、様子が変わったと思われるなら、すぐに、再受診して下さい。

- ①頭痛がだんだん増強する。顔色がわるい。むかつきがある。嘔吐した。
- ②手や足がしびれる。半身に力が入らない。物が二つに見える（複視）。
- ③ひきつけ（けいれん、発作）が起きた。
- ④話が通じない。ぼんやりしている。見当はずれのことを言う。
- ⑤ひどく汗をかく（発熱）。異常に暴れる。息づかいが変。
- ⑥一度起きてもすぐに眠り込んでしまう。呼びかけても目をさまさない。
- ⑦物忘れ、性格変化、異常行動など、認知症が始まったのではと思う。



血腫（白）により脳が強く圧迫されている

慢性硬膜下血腫：頭部打撲直後のCTでは異常はなく、1～3ヶ月して徐々に頭蓋骨と脳の間、徐々に血腫が溜まって発症します。初老～高齢の男性でお酒を飲む方に多く発症しますが、女性も少なくはありません。頭痛、ふらつき、物忘れ、意欲低下、意識障害、半身のしびれや運動麻痺等が徐々に進行してきます。定期検査で発見され自覚症状がないと思っても、手術を受けてみて頭がスッキリしてはじめて実は頭痛・頭重感があったことを自覚される患者さんも少なくはありません。比較的軽度な頭部外傷や時には頭を打った記憶がない場合でも発症することがありますので注意してください。年のせいとか認知症と安易に考えて放っておかないで、おかしいと思ったら直ちに受診して下さい。治療は局所麻酔で手術により血腫を取り除きます。入院期間は平均して2週間以内です。手術の適応、危険性、合併症などについては入院時に説明させていただきます。

☆ 頭部外傷で入院を要する状態 ☆

画像所見で異常がある場合

頭蓋骨骨折

頭蓋内出血（外傷性くも膜下出血、脳挫傷、急性硬膜外血腫など）

画像で異常がなくても入院を勧める状態

受傷後の意識障害、健忘、失見当識、その他の神経学的異常所見

頻回の嘔吐や頭痛

けいれん発作があった場合

受傷機転が重症を疑わせる場合（高所からの転落、交通外傷など）

診察で入院の必要がないと判断された場合でも、その後ごく稀に症状が出現し手術が必要となる場合があります。帰宅後も約半日は、普段と変わりがないか様子を見てください。帰宅後に症状が出現した場合は、すぐに再診してください。